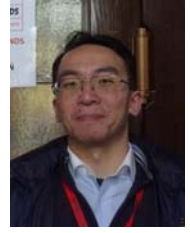


研究タイトル： コミュニケーション能力向上のための フォーカス・オン・フォームに基づく発音習得研究



氏名： 阿部 秀樹 / ABE Hideki E-mail: habe@tsuruoka-nct.ac.jp

職名： 准教授 学位： 博士(英語学)

所属学会・協会： 全国英語教育学会, 全国高専英語教育学会

キーワード： 英語発音, フォーカス・オン・フォーム, 第二言語の音韻習得

技術相談
提供可能技術：
 ・フォーカス・オン・フォームによる音声指導
 ・学習者発音の音声学・音韻論に基づく分析
 ・クラスルームにおける応用

研究内容：

1. フォーカス・オン・フォーム(FFI)に基づく発音習得研究

FFIの効果を学習者の聴解(perception)能力及び発音(production)能力の発達の観点から行った調査で、研究成果の要点は、いささかの制限はあるもの下記の通りである。また、研究プログラムの一部は「科研費」の成果として報告している(課題番号:25381229)：

【主な研究業績】

Abe, H. (2015). *Effects of form-focused instruction on the acquisition of weak forms by Japanese EFL learners*. 名古屋学院大学大学院 博士論文. Doi: 10.15012/00000613.

Abe, H. (2011). Effects of form-focused instruction on the acquisition of weak forms by Japanese learners of English. *Proceeding of the 17th International Congress of the Phonetic Sciences (ICPhS)*, 184-187.

Abe, H. (2010). FFI in L2 pronunciation pedagogy. *New Sounds 2010: The 6th International Symposium on the Acquisition of Second Language Speech*, 1-6. Poznan, AMU.

2. FFIアプローチにおける英語発音の長期的発達と個人差の影響

近年の第二言語習得研究における指導効果研究では、特定の学習項目の指導効果だけでなく、学習過程における個人差にも関心が向けられている。学習者の発音能力の到達度と学習動機及び学習方略を構造方程式モデルによって分析し、学習メカニズムの解明に取り組む。

本研究は平成30年度科学研究費補助金の採択課題である(課題番号:18K12482, 題目:Developing Form-Focused Instruction towards Comprehensible Speech in L2 Learners; A Structural Equation Modelling Study.)。

【主な研究業績】

Abe, H. (2018). The interplay of motivation and individual differences in the development of L2 pronunciation. In *Proceedings of ISATE, Hong Kong*, 1-4. Online Publication.

Abe, H. (2019). Self-regulation in L2 pronunciation. Paper read at the 6th English Pronunciation: Issues and Practice. University of Macedonia.

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	